

令和 7 年度 事業計画

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

ソニックシティは、大・小ホール、国際会議室などを有するホール棟、テナントオフィス、展示場、会議室、市民ホール、駐車場などを有するビル棟、そしてホテル棟の 3 棟からなる県内唯一の総合コンベンション施設として、昭和 63 年 4 月のオープン以降、埼玉県の発展及びイメージアップに大きく貢献してきた。今後も、埼玉県の中核地域であり東日本の玄関口である大宮駅前という立地を最大限に活かし、県内産業・文化の振興、国際交流の促進に一層重要な役割を果たしていくことが求められている。

公益財団法人埼玉県産業文化センター（以下、「財団」という。）は、ソニックシティの公共部門であるホール棟及びビル棟の公共テナントオフィス、展示場、会議室、市民ホール、駐車場等を設立当初から管理運営し、着実に成果をあげてきた。

そうした中、令和元年度末から続いた新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞で大きく落ち込んだ利用率も、令和 6 年度までに一部の施設を除きほぼ以前の状態に戻り、その間に進めた DX 化などによる経営改革の効果も相俟って、大きく悪化していた財政状況の改善を果たすに至った。

そこで、財団の新たな時代へのスタートに向けたチャレンジとして、自主制作によるオリジナル新作オペラ「平家物語」を令和 7 年 10 月に上演する。これはオープン 35 周年事業としての令和 5 年の上演予定が延期を余儀なくされていたものであったが、日本を代表する制作陣、出演者を迎えることができ、いよいよ世界初演となる。

また、コロナ禍というピンチをチャンスに変えるべく取組を始めた DX 化による経営改善活動も、令和 7 年度において、施設予約システムの更新、オフィス改装の実施によりさらに大きく進展させていく。それにより 6 年度から重点目標とした「ペーパーレスの推進」「働き方改革の推進」「顧客サービスの向上」という 3 つの視点を中心に業務改善をさらに推進する。

財団では令和 7 年度も、地域の社会経済活動に貢献し、人と人の間をあたたかくつなぐ礎となることを目指し、以下のとおり事業活動を行っていく。

1. 当財団の経営理念「すべてはお客様のために」～責任とスピードで高品質なサービスの提供～を常に意識し、全職員が一丸となって取り組み、“優れた経営体への変革”を進め、「顧客満足度」の高いサービスを追求、徹底する
2. 埼玉県唯一の総合コンベンション施設という矜持のもとその利点を活かしたイベントの積極的な誘致とニーズに的確に対応したホスピタリティあふれる利用運営により施設稼働や収益の向上を図る
3. 地域、社会、産業、経済、国際といった多面的な「地域文化の交差点」となることを目指し、培ってきた経験とノウハウ、センスを活かした様々な創意工夫により内容を充実させた事業を積極的に実施する

令和7年度の事業計画指標

1 施設目標利用率

施 設 名		令和7年度目標利用率
		中期経営計画の目標利用率
ホール棟	大 ホ ー ル	92.0%
	小 ホ ー ル	86.0%
	国際会議室	85.0%
ビル棟	展 示 場	61.0%
	会 議 室	80.0%
	市民ホール	87.0%

* 中期経営計画で掲げた目標利用率達成を令和7年度目標とする

2 公益目的事業数

事 業 名	令和7年度公益目的事業数
	中期経営計画の目標事業数
文化振興事業	14事業
産業振興事業	8事業
社会貢献事業	5事業
その他事業	3事業
合 計	30事業

* 中期経営計画で掲げた目標事業数達成を令和7年度目標とする

3 施設利用料収入目標

(単位：千円)

施 設 名	令和6年度 当初予算	令和6度 執行見込	令和7度 当初予算
ホ ー ル	293,021	288,270	310,470
会 議 室	223,976	207,584	218,564
展 示 場	154,005	143,320	149,050
市民ホール	38,971	36,567	39,600

* 令和7年度当初予算は、利用料金改定をしない前提で作成（協議継続中）

1 文化振興事業

(1) ホールメンバーズ事業

ソニックシティホールメンバーズ会員に対するイベント情報の提供、主催・後援事業のチケット優先・割引販売等を行うとともに、新たな会員の募集に努める。また、メルマガ会員の拡充を図っていく。

メンバーズ会員目標 2,800 名

(2) メディア連携事業

NHK と連携し、共催により次の事業を実施する。

ア NHK 全国学校音楽コンクール・埼玉県コンクール (8/4~8)

イ NHK 全国学校音楽コンクール・関東甲信越ブロックコンクール (9/5~7)

(3) プライマリーコンサート事業

若年層を中心としたクラシックファン層の拡大を目的に、市内小中学校や自治体との共催により、日本フィルハーモニー交響楽団の小編成（弦楽四重奏、金管五重奏、木管五重奏など）による出張コンサートを実施する。

ア さいたま市内小中学校 15 回

イ 市町村施設 1 回

(4) 自主文化事業

県民に対する文化の振興のため、日本フィルハーモニー交響楽団による定期演奏会を中心に、芸術公演を開催する。

* 公演内容等については、別添 1「令和 7 年度 自主文化事業一覧」のとおり

(5) Dance Community 事業

ダンスをソニックシティの新たな柱として置き、音楽、ファッション、スポーツ、コミュニケーション、教育など様々な面を持つダンスを通して幅広い層へ舞台芸術をアプローチし、地域の活性や交流の場を目指したダンスイベントを実施する。

ア 社会人のためのダンスワークショップ

イ ダンスフリースタイル

ウ ソニックダンスステージ

* 事業内容等については、別添 2「令和 7 年度 ダンス事業一覧」のとおり

2 産業振興事業

埼玉県や産業支援機関、経済・商工団体等との連携により、合同企業面接会を開催し県内企業への就業を支援する等、県内産業の振興・発展を図る。また時代の変化やトレンドを捉え、女性活躍や働き方改革等をテーマにした事業を展開していく。

ア 合同企業面接会 (3 事業)

イ さいたま市合同企業説明会 (5 事業)

ウ SAITAMA Smile Women ピッチ

エ 保育士就職フェア

オ 多様な働き方推進事業 (3 事業)

3 国際交流事業

関係団体との共催により、国際ビジネスの振興や外国人向け進学支援、日本語学習を支援する催事等を実施する。

- ア 日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス
- イ 日本語学習支援事業

4 社会貢献事業

健康増進や青少年教育の育成を目指す等社会貢献に資する事業を実施する。

- ア 渋沢栄一賞
- イ ピンクリボン運動普及促進事業
- ウ がんの集い
- エ 職業体験ワークショップ
- オ おもいやりコンサート
- カ ポリスコンサート
- キ クラシック音楽の学び舎
- ク 禁煙啓発ライトアップ
- ケ 子ども居場所フェア

5 地域交流事業

さいたま市内の地域団体との共催による市民相互の交流を促進する事業を実施する。

- ア 鉄道に親しむイベント（鉄道博物館と連携）
- イ 健康増進教室（RB 大宮アルディージャと連携）
- ウ 盆栽教室（盆栽事業者と連携）

6 コンベンション誘致・支援事業

県内唯一の総合コンベンション施設という利点を生かした大・中規模催事の誘致や新規顧客開拓などの積極的な営業活動を行う。また、専任スタッフによるきめ細やかな一括対応により、主催者との信頼関係を築き、優良顧客となるリピーターを増やしていく。

- ア 営業活動
 - ・営業訪問（県内大学、医療機関等）
 - ・メール営業
 - ・Zoom 活用によるオンライン商談の実施
 - ・施設プロモーション動画、施設案内動画による PR
- イ ニーズに応じた配信やハイブリッド開催支援
- ウ 埼玉県物産観光協会と連携した県産品 P R
- エ さいたま観光国際協会と連携した開催支援金 P R
- オ 「M I C E 連絡協議会」参加（年 1 回）
- カ 「首都圏コンベンション施設運営協議会」参加（年 6 回）
- キ 「国際会議場施設協議会」参加（年 2 回）

7 ホール管理事業

埼玉県から指定管理者の指定を受けて、中期経営計画（令和 6 年度～令和 10 年度）に基づき、ソニックシティホールの利用促進及び貸出業務並びに施設維持管理業務を行う。

電気受給契約や一部の定期保守点検を見直すことでランニングコストの削減に努める。

（1）埼玉県実施直轄工事等

ア ホール棟照明 LED 化改修工事（設計）

イ ホール舞台照明・音響改修（設計）

8 ビル貸出管理事業

中期経営計画（令和 6 年度～令和 10 年度）に基づき、会議室・展示場・市民ホール・イベント広場といった各施設の利用促進及び貸出業務並びに施設維持管理業務を行う。

（1）埼玉県実施直轄工事等

ア 5,6,7 階会議室 照明 LED 化改修工事

イ 展示場 照明 LED 化改修工事（設計）

9 テナント・受託施設管理事業

（1）テナント管理事業（公共テナント）

公益事業を行う団体に対して好条件な物件を低廉な賃料で提供することで、地域産業の拠点を形成するとともに、当該団体の経済的負担を低減させる。また、きめ細やかな施設維持管理を行うことで、テナント入居者の公益事業をサポートする。

（2）受託施設管理事業（パスポートセンター、再交付・国外運転免許センター）

埼玉県の行政財産 2 施設について、清掃・点検等の施設維持管理業務を県から受託し実施する。

10 広報活動事業

（1）SET 作成・発行事業

ソニックシティの催事案内紙「SET」を発行（年 6 回 約 6,000 部）し、ホールメンバーズ会員、県内各機関に発信することにより、財団が主催・後援するコンサートのチケット情報等を広く県民に提供する。

（2）ホームページ運営事業

施設の利用案内や、主催・後援するコンサートのチケット情報、その他イベントの募集案内などを広く県民に提供する。また、SNS 等による広報活動を推進する。

11 付帯サービス事業

貸出施設の利用に伴う各種ニーズに対応するため、高品質のサービスが提供できる専門業者に委託し、施設利用者の利便性向上を図る。

ア 飲食サービス（主催者の依頼に基づく弁当等の手配、自販機の運営）

イ 舞台サービス（催事のプランニング、機材・看板・オペレーターの手配）

ウ イベントサービス（機材の手配、会場設営の請負）

エ 託児サービス（館内託児室の無料提供、シッターの紹介）

オ ボックス型ワークスペースの提供（ビル棟 9F ロビー）

12 駐車場管理事業

ソニックシティ公共施設及びオフィス利用者向けのホール棟地下駐車場並びにテナント入居者を中心とした第2パーキングの管理・運営を行う。

13 旅行業事業

（1）近隣ホテルへの宿泊手配取次

大規模催事等では県外からの宿泊を伴う施設利用者が多いため、近隣ホテルと連携し宿泊手配取次を行うことで施設利用者の利便向上に繋げる。

（2）埼玉県物産観光協会等と連携したツアーPR

県内観光振興を図るため、埼玉県物産観光協会等と連携しツアーPRを行う。

14 ソニックシティ・オープン35周年記念事業

令和5年にソニックシティはオープン35周年を迎えた。新型コロナウイルスの影響により令和5年度に実施できなかった事業を令和7年度に実施する。

（1）新作オペラ「平家物語」上演

日本を代表する制作陣・出演者による新作オペラを世界初演として上演する。

日 時：令和7年10月4日（土）及び5日（日）14時開演（予定）

会 場：ソニックシティ大ホール

作 曲：酒井健治 脚 本：田渕久美子 演 出：田尾下哲

管弦楽：読売日本交響楽団 指 揮：下野竜也

（2）オフィス改装

ソニックシティDX推進計画に基づき、前時代的なオフィス環境からの完全脱却・主体的行動力の強化・コミュニケーションの活性化・自由で自律的な働き方の実現等を目的に、オープン以来初となるオフィス改装を実施する。

注）本事業の財源として「事業積立資産」を引当てる予定である。

令和 7 年度重点取組項目

「経常利益を増加させる取組」「生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する取組」を重点取組項目として掲げ、次頁以降に具体的な数値目標を設定した上で、今まで以上に積極的に取り組んでいく。また、これらの目標を達成するため、部署ごとの年間目標を定めた「目標管理シート（自己評価及び業務評価）」を作成し、半期ごとに目標達成進捗を確認しながら事業をすすめる。

	R 6 年度(見込)	R7 年度(計画)
経常収益	1,308,654 千円	1,435,902 千円
財団収益	1,308,654 千円	1,435,902 千円
指定管理料	0 千円	0 千円
経常費用	1,341,010 千円	1,533,866 千円
経常利益	△32,356 千円	△97,964 千円

注) 35 周年事業（事業積立資産を活用）を除く損益は△36,321 千円となる。

1 経常利益を増加させる取組

(1) ホール棟施設（大・小ホール・国際会議室）の損益改善

①大ホールの収益向上

●コンサート主催者（新規プロモーターの開拓／年間 2 件予約）

具体策として、話題性のあるイベントや一流アーティストのプロ興行案件について、財団の長期予約検討会議（月例開催）に諮り、積極的に「優先予約」として受け入れる。一方で、公共性の高い全国大会や学術会議などのコンベンション案件もバランス良く受け入れることで、収益性と公共性を両立させる。

【令和 6 年度実績】※令和 7 年 1 月末現在の実績

プロ興行案件 : 87 件 88,657 千円

コンベンション : 48 件 105,843 千円

②小ホールの収益向上

●文化系催事への営業強化（音楽公演、ダンス利用営業／年間 2 件予約）

これまでは、講演会・研修会、ピアノ発表会での利用が多かったが、財団自主事業として、ダンスイベントや古典芸能公演を実施している効果で、有料公演やダンスイベントが増加傾向にあり、今後も利用者層を広げて利用率増を図る。

【令和 6 年度実績】※令和 7 年 1 月末現在の実績

有料公演 : 7 件 1,694 千円

ダンスイベント : 4 件 1,463 千円

③国際会議室の収益向上

●学会主催団体、旅行代理店へのメール営業強化（年間：1,000 件以上）

スクール形式で 180 名（3 人掛け）が収容できることや、独立した広いホワイエ、応接室・控室を備えたグレードの高い施設として PR を継続する。ビル棟

にある類似施設「市民ホール」「会議室」利用者へも積極的に営業をして、100 名上の大型会議需要に応じて利用増を図る。

【令和 6 年度／類似施設の利用率比較】※令和 7 年 1 月末現在の実績

国際会議室 86.2% 市民ホール 87.3% 906 会議室 92.6%

3 施設の相乗効果により、高い利用率を維持している。

	R7 年度(計画)
収益	310,470 千円
費用	328,784 千円
利益	△18,314 千円

(2) ビル棟施設（会議室・展示場・市民ホール）の損益改善

①ビル棟施設全体の収益向上

●リピーターへのメール営業強化（年間：1,500 件以上）

②会議室の収益向上及び費用削減…インターネット利用登録者の拡充による予約率の向上(新規登録 30 件×12 ヶ月＝360 件)

	R7 年度(計画)
収益	407,528 千円
費用	229,921 千円
利益	177,706 千円

会議室については、令和 7 年度より備品標準化を実施する。これにより、利用者は個別に備品を申し込むことなく、プロジェクター、スクリーン、モニター、マイク等を標準備品として利用が可能となり利便性向上が期待できる。

利用率が低迷する「展示場」については、広い会場を求める利用者の需要に応えるため、従来とは異なる利用形態である「会議・研修・試験」を目的とする利用層への営業を強化する。

また、併せてビル棟各施設の副名称を設定することで、用途にとらわれず、利用者がより使いやすい施設を目指す。

展示場＝多目的ホール 市民ホール＝集会室 会議室＝ミーティングルーム

施設予約システム更新により、利用予約の 70%程度を占める「会議室」は、予約から支払いまでをすべてウェブ上で完結する。また、各施設ともウェブ上でキャッシュレス決済が可能となり、利用者控えや領収書などもウェブ上での取得が可能となりペーパーレス化が一層進む。また、システム更新により月々の運用コストは従来の半分以下に抑えることができる。

(3) 文化振興事業の損益改善

①チケット販売数向上：

定期／県教職員／学校などの各種斡旋販売強化／プレイガイド利用

②新規顧客獲得：チラシ配布やポスティング強化／プレイガイド一斉 DM

③損益改善公演実施：

共催相手との協働により、損益改善を図る。同時に新規誘客につなげる。

	R7 年度(計画)
収益	89,664 千円
費用	87,383 千円
利益	2,281 千円

そのほか、さいたま市内の県有施設との連携による大規模コンベンション誘致や自主事業公演のチケット販促による収益増を図るよう努める。

2 生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する取組

(1) ペーパーレスの推進

「DocuWorks 導入による電子決裁」及び「クラウドサイン導入による電子契約」をこれまで以上に積極活用することによりペーパーレスを推進する。また、紙資料で保管しているスペースを削減し、より効率的な業務ができるスペースを創出する。

	R7 年度(計画)
年間紙削減枚数	R5 年度比 ▲10,000 枚
累計書類保管棚削減数	R5 年度比 ▲4 台

(2) 働き方改革の推進

「リモートビュー導入によるテレワーク」「スライド勤務制度」を積極活用し、ライフスタイルに合わせた働き方の選択による職員のモチベーションアップを図るとともに、業務負荷の分散と繁閑に合わせた勤務体制等により時間外縮減に繋げる。

*なお、時間外の範囲は時間外手当対象外の管理職も含む。

	R7 年度(計画)
年間削減時間外勤務	R5 年度比 一人当たり ▲30 時間

(3) 顧客サービスの向上

既に導入している会議室の「インターネット予約」を推進し、顧客サービス向上に繋げる。「インターネット予約」はスマートフォンや PC から いつでもどこでも 24 時間予約ができ、予約履歴もマイページから確認可能、といった利便性があるため、積極的に HP 等での PR をおこなう。また、新予約システム導入により、利用者登録の時間短縮が期待できることから、この点も積極的に PR し、利用者増に繋げる。

	R7 年度(計画)
インターネット予約率	90%以上

令和7年度 自主文化事業一覧

No.	公 演 名	公 演 日 開 演 時 間 会 場	共 後 協	催 援 賛	出 演 者 ・ 曲 目 等			
入 場 料 金								
1	日本フィルハーモニー交響楽団 第 149 回 さ い た ま 定 期	5月 24 日 (土) 14 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 協賛：株式会社タムロン	指揮：カーチュン・ウオン ヴァイオリン：服部百音 曲目：シベリウス／ヴァイオリン協奏曲 マーラー／交響曲第5番	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
2	第三回コラボレーション事業 麻 倉 も も Premium Symphonic Concert	6月 28 日 (土) 16 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：調整中	出演：麻倉もも 他	収 入	支 出	収支差額	参加者数
価格：調整中							0	
3	日本フィルハーモニー交響楽団 第 150 回 さ い た ま 定 期	7月 4 日 (金) 19 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟	指揮：原田慶太楼 ピアノ：阪田知樹 曲目：ラフマニノフ／ヴォカリーズ(管弦楽版) バガニーニの主題による狂詩曲 交響曲第2番	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
4	日本フィルハーモニー交響楽団 第 151 回 さ い た ま 定 期	9月 27 日 (土) 14 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 協賛：株式会社タムロン	指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子 曲目：サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番 チャイコフスキー／交響曲第5番	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
5	日本フィルハーモニー交響楽団 第 152 回 さ い た ま 定 期	11月 15 日 (土) 14 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 協賛：武蔵野銀行	指揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓 曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 ドビュッシー／小組曲 ラヴェル／「ボレロ」	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
6	第四回コラボレーション事業 調 整 中	12月 6 日 (土) 15 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：調整中	調整中	収 入	支 出	収支差額	参加者数
価格：調整中							0	
7	日本フィル・ソニックシティ 「 第 九 」 演 奏 会 2 0 2 5	12月 12 日 (金) 19 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 埼玉県合唱連盟 協賛：株式会社タムロン	指揮：出口大地 ピアノ：鈴木愛美 ソプラノ：砂田愛梨 メゾ・ソプラノ：山下裕賀 テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典 合唱：埼玉第九合唱団 曲目：ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第2番 ／交響曲第9番「合唱」	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys：2,000円							0	
8	日本フィルハーモニー交響楽団 第 153 回 さ い た ま 定 期	1月 31 日 (土) 14 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 協賛：パレスホテル大宮	指揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団★ 曲目：★ヨハン・シュトラウス2世：トリッチ・トラッチ・ポルカ シュトラウス2世 ポルカ「元気にやろうぜ」 シュトラウス2世 ポルカ「ハンガリー万歳」 ★ハチャトゥリアン：仮面舞踏会～ワルツ チャイコフスキー 白鳥の湖からワルツ ★チャイコフスキー：白鳥の湖「情景(第2幕冒頭)」 ★くるみ割り人形から行進曲 ★チャイコフスキー：花のワルツ ドヴォルジャーク／交響曲第9番「新世界より」	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
9	日本フィルハーモニー交響楽団 第 154 回 さ い た ま 定 期	3月 28 日 (土) 14 : 00 開 演 大 ホ ー ル	共催：日本フィル、さいたま市 後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県吹奏楽連盟 協賛：FVジャパン株式会社	指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大 曲目：ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 交響曲第5番「運命」	収 入	支 出	収支差額	参加者数
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円							0	
10	春風亭一之輔ソニックシティ 独 演 会 2 0 2 5	6月 2 日 (月) 19 : 00 開 演 小 ホ ー ル	後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市、市教育委員会	出演：春風亭一之輔 他	収 入	支 出	収支差額	参加者数
全席指定：4,500円							0	
11	立 川 志 ら く ソ ニ ッ ク シ テ ィ 独 演 会 2 0 2 5	7月 23 日 (水) 19 : 00 開 演 小 ホ ー ル	後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市、市教育委員会	出演：立川志らく 他	収 入	支 出	収支差額	参加者数
全席指定：4,500円							0	
12	蝶 花 楼 桃 花 ソ ニ ッ ク シ テ ィ 独 演 会 2 0 2 5	12月 2 日 (火) 19 : 00 開 演 小 ホ ー ル	後援：埼玉県、県教育委員会 さいたま市、市教育委員会	出演：蝶花楼桃花 他	収 入	支 出	収支差額	参加者数
全席指定：4,500円							0	

令和7年度 ダンス事業一覧

No.	事業名	開催日時 会場	後援・協力	参加者・出演者等			
	料金						
1	社会人のためのダンスワーク ショップ	7月3日(木)、7月17日(木) 7月31日(金)、8月21日(木) 9月4日(木)、9月18日(木) 10月9日(木)、10月23日(木) 11月6日(木)、11月20日(木) 12月4日(木)、12月18日(木) 1月8日(木)、1月15日(木) 全14日程 19:00 ~ 20:00 リハーサル室	協力:株式会社アルフォ	講師:小林隼大 参加:ソニックシティ周辺にお勤めの方、お住まいの方			
	参加費 7,000円			収入	支出	収支差額	参加者数
						0	
2	ダンスフリースタイル2025	8月2日(土) 14:00 開演 小ホー	後援:埼玉県、 埼玉県教育委員会、 さいたま市、 さいたま市教育委員会 協力:株式会社アルフォ	出演者:県内のダンスチーム、ダンススクール約30チーム			
	全席自由 2,000円			収入	支出	収支差額	参加者数
						0	
3	ソニックダンスステージ2026	2月7日(土) 14:00 開演 大ホー	後援:埼玉県、 埼玉県教育委員会、 さいたま市、 さいたま市教育委員会 協力:株式会社アルフォ	出演高校:県内高校約15校 生演奏:Music Salon 音雫 ゲスト:KO-ney			
	全席自由 一般: 3,000円 Ys: 2,000円			収入	支出	収支差額	参加者数
						0	
				総収支差額(円)		0	入場者 数計
							0